**J-STAR**

**研究会・講演会等における講演・口演・ポスター発表に関わる**

**利益相反（COI）自己申告書**

発表者氏名（全員）：

筆頭発表者所属（略称可）：

発表演題名：

＊発表者全員について、発表内容に関係する企業・組織や団体とのCOI状態を記載して下さい。

＊抄録登録時の前年から遡って1年ごとに過去３年間を対象としたCOI状態を申告して下さい。

注：下記「申告すべき事項」のなかで「申告の基準」額を超えている事項で、なおかつ演題登録時点の前年から遡って3年間に抵触している事象が存在する場合のみ「有」として必要事項を記載して下さい。それ以外の場合はすべて「無」として下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 申告すべき事項【申告の基準】 | 該当の有無（○印を付す） | | の場合、①該当者氏名、②企業・団体名等を記載して下さい。 |
| 1. １．役員・顧問職などの報酬額 2. 【1つの企業・組織や団体から年間100万円以上】 | 本人 | 有　・　無 |  |
| 親族 | 有　・　無 |  |
| 1. ２．株式等による利益 2. 【1つの企業からの配当利益等が年間100万円以上、あるいは当該全株式の5％以上保有】 | 本人 | 有　・　無 |  |
| 親族 | 有　・　無 |  |
| 1. ３．特許権使用料 2. 【1つにつき年間100万円以上】 | 本人 | 有　・　無 |  |
| 親族 | 有　・　無 |  |
| 1. ４．講演料 2. 【1つの企業・組織や団体から年間50万円以上】 | 有　・　無 | |  |
| 1. ５．原稿料 2. 【1つの企業・組織や団体から年間50万円以上】 | 有　・　無 | |  |
| 1. ６．研究費・助成金等の総額 2. 【1つの企業・団体から、医学系研究（共同研究、受託研究、治験など）に対して、申告者が実質的に使途を定めて取得した研究契約金の総額が年間100万円以上のものを記載】 | 有　・　無 | |  |
| 1. ７．奨学（奨励）寄附金等の総額 2. 【1つの企業・団体から、申告者個人または申告者が所属する講座・分野または研究室に対して、申告者が実質的に使途を決定し得る寄附金の総額が年間100万円以上のものを記載】 | 有　・　無 | |  |
| 1. ８．企業等が提供する寄附講座 2. 【実質的に使途を決定し得る寄附金の総額が年間100万円以上のものを記載】 | 有　・　無 | |  |
| 1. ９．旅費、贈答品等の受領 2. 【1つの企業・組織や団体から年間5万円以上】 | 有　・　無 | |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 所属する組織・部門の長に関する申告事項  【申告の基準】 | 該当の有無（○印を付す） | の場合、①該当者氏名、②企業・団体名等を記載して下さい。 |
| 1. 1．研究費・助成金等の総額 2. 【1つの企業・団体が契約に基づいて，申告者の医学系研究（助成研究、共同研究，受託研究など）に関連して，当該の長が実質的に使途を決定し得る研究契約金で実際に割り当てられたものを記載】※年間1000万円以上 | 有　・　無 |  |
| 1. 2．奨学（奨励）寄附金等の総額 2. 【1つの企業・営利団体から，申告者の研究に関連して，所属研究機関そのものあるいは，部門（病院，学部またはセンター，講座）の長に提供され、過去3年以内に実質的に使途を決定し得る寄附金で実際に割り当てられたものを記載】 3. ※年間200万円以上 | 有　・　無 |  |
| 3．その他   1. 【申告者が所属する研究機関そのもの、あるいは機関・部門の長が本学会の事業活動に関係する企業などの株式保有（5％以上）、特許使用料、あるいは投資など。本学会の事業活動において影響を与える可能性が想定される場合に記載】 | 有　・　無 |  |

　　　 （注）記録は２年間保管しますが、COIの開示は発表の際毎回行う必要があります。

(注) 所属する組織・部門の長に関する申告事項については、公表はいたしません。

申告日（西暦）：　　　　　　　　　　年　　 月　　 日

筆頭発表者氏名